

日本歌舞伎藝術



李穎著

大眾文藝出版社

J835(313)/1

李

颖著

日本歌舞伎艺术

大象文芸出版社

赠阅

首都师范大学图书馆



21285256

图书在版编目 (CIP) 数据

日本歌舞伎艺术/李颖著
—北京：大众文艺出版社，1998.9
ISBN 7-80094-604-5

- I. 日…
- II. 李…
- III. 歌舞伎-艺术-日本
- IV. J835

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (98) 第 21109

大众文艺出版社出版发行
(北京西城区鼓楼西大街 79 号)

邮编：100009

北京通州运河印刷厂印刷 新华书店经销

开本 850×1168 毫米 1/32 印张 10.375 字数 259 千字 插页 6

1998 年 9 月北京第 1 版 1998 年 9 月北京第 1 次印刷

印数 1—3000 册

定价：23.80 元



1992年作者与日本早稻田大学演剧博物馆馆长鸟越文藏教授合影



1996年作者与日本东京俱乐部理事长柏木雄介(左二)、总支配人柿沼雄政(左一)、新国立剧场运营财团理事长(右一)合影



1969年11月歌舞伎座《助六由缘江戸櫻》雀右卫门的白玉、歌右卫门的扬卷



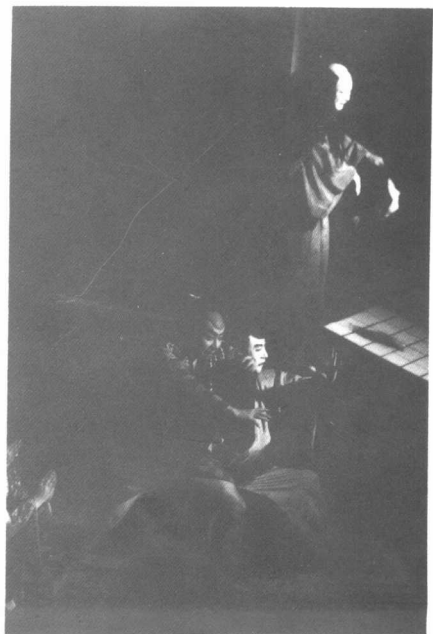
1969年11月歌舞伎座《市川海老藏袞名口上》现市川团十郎



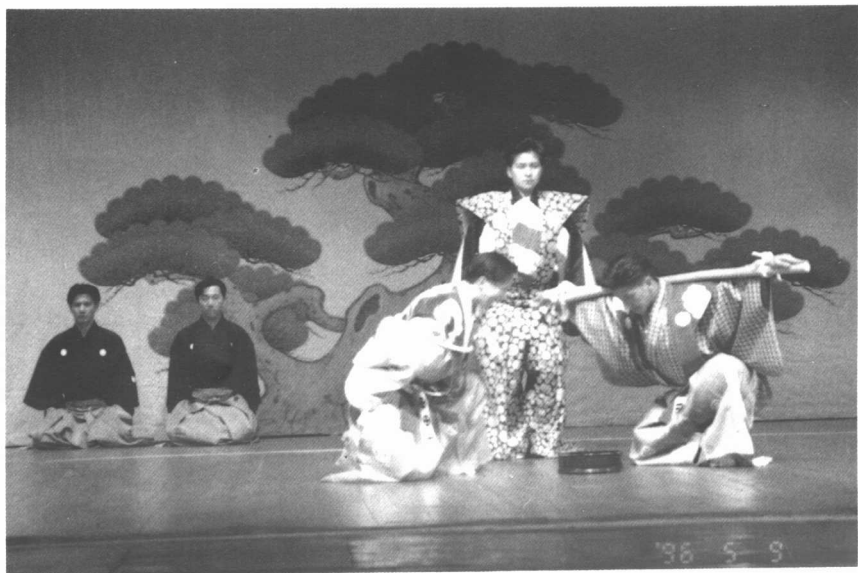
1985年4月歌舞伎座《12代市川团十郎袭名披露口上》团十郎、堪三郎、歌右卫门等



1982年10月歌舞伎座《新装镜山再岩藤》市川猿之助的岩藤



1982年7月歌舞伎座《裹表忠臣藏》段四郎、宗十郎、猿之助



狂言《棒縛》和泉流第 20 代宗家和泉元弥、女狂言师和泉淳子、三宅藤九郎



荒事：1981 年 12 月《管原传授手习鉴》“车引”菊五郎的櫻丸、团十郎的松王丸、勘刀九郎的梅王丸



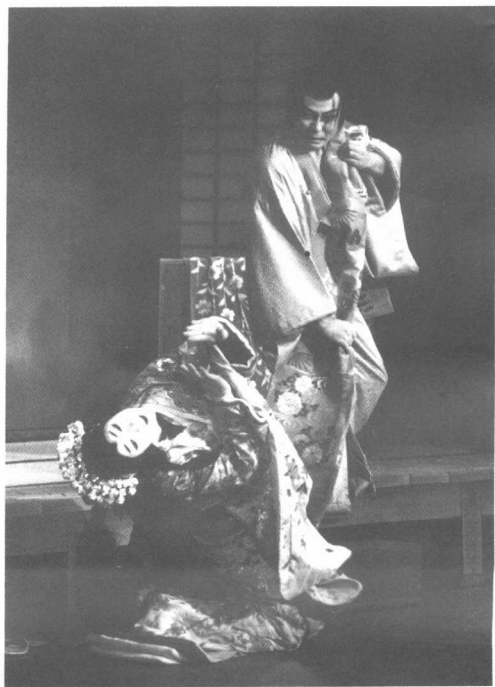
所作事：1963年歌舞伎座《娘道成寺》歌右卫门的花子



和事：1959年《新版歌祭文》“野崎村”松次的阿常、七世丹之助的阿染、宗十郎的阿光、九世八百藏の久作、猿之助の久松



1982年9月歌舞伎座《隅田川
续弟》“法界坊”松江的野分姬
的灵

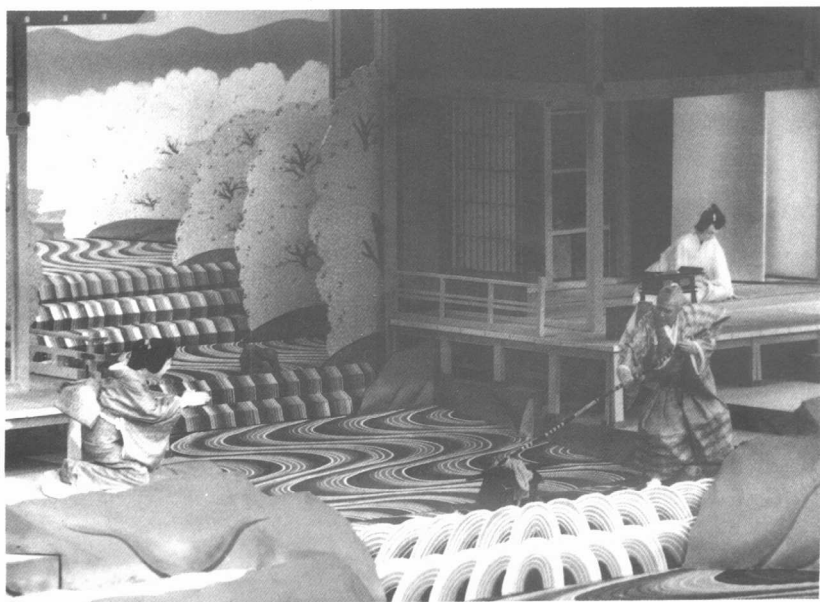


1985年6月《再櫻遇秋水》
藤十郎的櫻姬、吉右卫门
的清玄



1976年歌舞伎座《金阁寺》
芝音的雪姬(左)

1974年4月《妹背山妇女庭训》“吉野川”歌右卫门的定高、白鸚的大判事、梅玉的久我之助(下)





1985年1月歌舞伎座《恋飞脚大和往来》“新口村”歌右卫门的梅川、雁治郎的忠兵卫(左)

1960年4月歌舞伎座《笼钓瓶花街醉醒》堪三郎的次郎左卫门、歌右卫门的八乡桥(右)



序

日本の国外にも日本演劇の研究者は増加して
いる。私が属する早稲田大学に留学する研究者
のみを対象にして吳朱氏はじめとすゝ西政諸
国には多い。東欧の数ヶ国にも研究者が居る。
これらに比べ東洋人の日本演劇研究者は非常に
少ない。稀有な存在である東洋人としての日本演
劇研究者の一人が李穎氏である。

此書、李穎氏の著書「李穎氏の研究書と上梓」より

ととにやうな、陰質に似て可い。

孝親氏は五千の日本留學期間の大半を和の事
とて研究したのであるが、何よりも努力家であ
ることに感心させられた。私は孝親氏に對して
は、著しく楷筆した。之によつて耐えて成果を
あげていられたのである。

私は中国語の読みかた、この書の内容と
十分理解できぬが、各章に孝親氏の精根が注
がれた文章が引ねられて、いさゝかと思ふ。

出版部成金と受け付けたので、東京俱樂部へ提出

1. 本書の目的は、明治の知識界の動向を、
 高橋の生み育てた社会背景を説き及ぶ。現代
 の社会を継承する。日本に限らず世界の各国で
 起る。そして、私権の全貌を各方面から論じて
 いるようにである。また、東京供養社で研究会と
 呼ぶ。在外国人女性としてはいけり人に冷き季
 題はか二人目とという。名譽名としてである。

この本は、イギリス人の演劇研究者は、私に
 演説をもしなるとかである。自分には長年
 以来の西洋演劇を対象として演劇論を構築して

また。今回、中国、日本、の海利を觀て研究方法を改めねばならぬ。之を痛感し、之を論理化する方法の、西洋の東西の海利を統一的に論理化する方法の研究、今と組織し、之を考へ、之を、今、東洋の海利は、西洋の海利研究者は、力、割、目、を、之、て、い、ふ。

此、度、の、季、親、氏、の、著、書、の、中、国、人、に、於、て、海、利、を、理、解、す、べ、し、の、針、と、も、な、る、と、も、述、び、て、い、ら、る、。

早稲田大學教授 同演劇博物館長

雫井文子



一九九七年一月一七日

序

日本早稻田大学教授 鸟越文藏
早稻田大学演剧博物馆馆长

目前，在日本的外国日本戏剧研究者正在增加。

在此，仅以我在早稻田大学管辖范围内的留学的研究者作为对象。最初，从事日本戏剧研究的，是以英美、西欧诸国的研究者为多。东欧几个国家的研究者也有。相比之下，在东方人中间，日本戏剧的研究者却非常少。在稀有的研究日本戏剧的东方人中间，有重要的一个人，就是李颖氏。

此次，在李颖氏研究歌舞伎的著作获得出版之际，我表示特别的庆贺。

李颖氏在日本留学的五年期间，大半时间是在我的指导下进行的。因为她是比任何人都努力的人，我深感钦佩。正是由于李颖氏，能够极力地忍耐着我在执教过程中，严格、严厉的学习指导；并且积极努力地进取，所以才获得了现在的研究成果。

我不懂汉语，对书中的内容虽然未能全部理解，但是，我通过了解李颖氏为接受出版助成金，向东京俱乐部提出的目录：我认为，李颖氏在每个章节里，已经将全部的研究心血和精力，都贯注到了文章之中。

本书是从生育歌舞伎的社会背景开始，一直到歌舞伎的发展